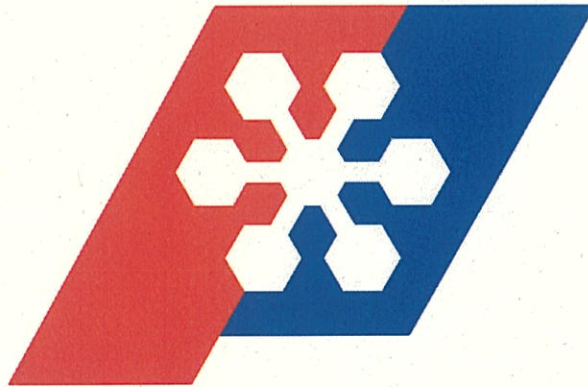


平成30年度

決算報告書

(第9期事業年度)



自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

- (注) 金額の端数処理は百万円未満を四捨五入しているため、合計金額と一致しないことがあります。
- (注) 予算額及び決算額には、前年度からの繰越額846百万円を含みます。
- (注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分が違うため、損益計算書と決算報告書の研究経費額及び一般管理費額が相違しています。
- (注1) 他のセグメントに予算額を配分したことにより、予算額に比して決算額が減少しました。
- (注2) 給与改定の影響や退職手当を支給したことなどにより、予算額に比して決算額が増加しました。
- (注3) 片舎照明のLED化のため繰越積立金を取崩すなど、発注工事を追加したことなどにより、予算額に比して決算額が増加しました。
- (注4) 依頼者等が減少したことなどにより、予算額に比して決算額が減少しました。
- (注5) 受託研究の獲得に努めたことから、予算額に比して決算額が増加しました。
- (注6) 補助金の獲得に努めたことから、予算額に比して決算額が増加しました。
- (注7) 経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が減少しました。
- (注8) 災害復旧や災害対策のため、目的積立金を取崩したことにより、予算額に比して決算額が増加しました。
- (注9) 研究用備品を購入したことなどにより、予算額に比して決算額が増加しました。
- (注10) 職員人件費等の減少により、予算額に比して決算額が減少しました。